

上武建設

子供らの感染予防に

生駒北
小中学校
マスク5千枚寄贈

新型コロナウイルスの第5波が猛威をふるうなか、生駒市の上武建設（上武勝宣代表取締役グループ会長）はこのほど、同市立生駒北小中学校（中井一郎校長）に5000枚の不織布マスクを寄付した。

同社の創業者でもある上武さんは同校出身。これまで「上武文庫」と呼ばれる書籍や本棚を寄贈するなど支援を続けている。今回、全学年の児童・生徒に1人20枚のマスクが行き渡るようにし、1、2年生には子

ども用を用意した。上武さんは「ワクチン接種を受けられない子どもたちの感染予防に使ってもらえれば、母校への感謝の思いを胸に、今後もさまざまな支援をしたい」と話す。中井校長は「感染が拡大する中でありがたいこと。児童・生徒にも危機感を感じ取り持つてもらい、対策を徹底したい」と感謝した。

上授業終了後、教員から児童・生徒にマスクが手渡された
=8月27日、生駒市高山町の生駒北小中学校

